

授業科目(ナンバリング)	社会福祉原論 B (DA305)			担当教員	大島 啓		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<p>急激な社会変動に伴う生活問題（労働、環境、教育、保険・医療、住宅、過疎・過密のそれ）や、福祉ニーズの多様化・複雑化・高度化に対応して、現代の社会福祉の守備範囲は拡大しつつある。さまざまな政策・対策と連携しつつ、それらの問題に対処するためには、社会福祉の方法や技術だけでなく、現代社会の動向や福祉/社会政策の仕組みを深く洞察することが必要である。本講義では、それらの洞察に基づく思考力、判断力、表現力を活用することを通じて、主体的に問題解決を行い、地域社会や国際社会に貢献することができる人物を育成することを目標とする。</p>							②
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	社会福祉、福祉政策、社会政策相互に関係する専門的知識を修得し、それらを社会の様々な生活課題に適用して、解決を図るための条件を説明することができる。				・定期試験	70%	
情報収集、分析力	現代社会の動向や福祉/社会政策の仕組みに関する情報を収集し、それを分析する能力を身につけることで、自己や社会の成長に役立つ知見を指摘することができる。				・定期試験	20%	
コミュニケーション力	ホスピタリティの精神に基づき、自分の考えを他者に明確に文章で伝えることによって、相互理解を図る営みに参加することができる。				・リフレクションカードにおける質問事項	10%	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>「定期試験」では筆記試験を実施する（評価比率 90%）。穴埋め問題と論述式の設問を出す。定期試験では、現代の社会福祉政策の課題に対応できる基礎知識の理解度が身についているかを問う。リフレクションカードにおける質問事項（評価比率 10%）では、現代の社会福祉政策の課題に対応できる思考力を確認し、良い質問があれば評価の対象とする。なお質問に関しては、授業内に回答の形でフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>講義形式を基本とするが、折に触れて受講者に意見を聞いたり質問したりするので、うまく対応できなくてもよいから素直に発言すること。講義は、指定テキストと毎回配布するレジュメを併用して行う。なお毎授業の最初に、前回授業の復習を目的とする確認テストを行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：『現代社会と福祉』 新・社会福祉士養成講座編集委員会 4 (株)中央法規出版(2014) 参考書：『社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験ワークブック 2016 (共通科目編)』(株)中央法規出版 ※教科書では不十分な記述の解説をする際に、参照を求める 指定図書：『現代社会と福祉』 新・社会福祉士養成講座編集委員会 4 (株)中央法規出版(2014)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>全国紙新聞の福祉に関係する記事を探して読み、日常的に社会情勢に関心を持つこと。トイレ等で席を立つときは、必ず教員に許可を取ること。勝手に教室外に出ることは許可しない。携帯電話の使用は禁止。次ページの「予習・復習」欄に記載されている教科書の部分を、授業前日までに読んでおくこと。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	福祉政策の理念と主体	生活自己責任や相互扶助、ノーマライゼーションや社会的包摂の思想について学ぶ	予習・復習：教科書第8章第1節を読んでおく
2	福祉政策の手法	規制と給付、福祉政策との関係について学ぶ	予習・復習：教科書第8章第2節を読んでおく
3	福祉政策の関連領域①	人権擁護と社会的排除、医療と福祉の連携について	予習・復習：教科書第9章第1、2節を読んでおく
4	福祉政策の関連領域②	福祉と所得保障、雇用、教育との関係	予習・復習：教科書第9章第3、4、5節を読んでおく
5	福祉政策の関連領域③	福祉と住宅政策の関係、東日本大震災で明らかになった問題点について学ぶ	予習・復習：教科書第9章第6、7節を読んでおく
6	社会福祉の制度	社会福祉制度の構造や、その担い手の拡大について	予習・復習：教科書第10章第1節を読んでおく
7	社会福祉制度と福祉サービス	措置制度の意義と限界、福祉サービス提供方式の多元化	予習・復習：教科書第10章第2節を読んでおく
8	福祉サービスの提供	福祉サービスの供給、提供、利用の体制/過程について	予習・復習：教科書第11章第1節を読んでおく
9	福祉サービスと援助活動	バイステックの7原則、ストレングスとエンパワメント、相談援助の方法について学ぶ	予習・復習：教科書第12章第1節を読んでおく
10	援助活動の地域福祉への展開	社会福祉士が地域の社会資源を用いて、地域社会に働きかける際の留意点について確認する	予習・復習：教科書第12章第2節を読んでおく
11	福祉政策の国際比較①	欧米の福祉政策と、日本のそれとの比較	予習・復習：教科書第13章第1節を読んでおく
12	福祉政策の国際比較②	東アジアの福祉政策と、日本のそれとの比較	予習・復習：教科書第13章第2節を読んでおく
13	福祉政策の課題と展望①	生活不安と福祉労働市場改革、地域社会の危機について	予習・復習：教科書第14章第1節を読んでおく
14	福祉政策の課題と展望②	家族・地域社会の機能低下と、それに対応する福祉国家/福祉社会の構想	予習・復習：教科書第14章第2節を読んでおく
15	福祉政策の課題と展望③	ゲマインシャフトとゲゼルシャフト、「新しい公共」の概念、包摂型福祉社会の創設について	予習・復習：教科書第14章第3節を読んでおく
16	定期試験		定期試験の準備